

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)w

公表:令和 5年 4月 15日

事業所名 きらめきキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		個別に対応できる部屋が必要だと感じているので、教会と相談をして、部屋を利用させてもらうよう調整してあります。
	2 職員の配置数は適切である	2	6		シフトの段階では、適正人数の配置をしています。休みが出た時は、他事業所からの見守りでのヘルプ要請をしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		児童に行動の見通しが立つように、今日の予定や、用意の手順など掲示物で表しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		フロアが広く、活動がしやすくなっています。大きな窓もあり風通しもいいです。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		保護者からの評価表を基に意見を取り入れています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		ホームページでの公開をしています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8		外部評価を行っています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	7		揃っての研修をうける時間を作れないので、各自での研修動画を見る事を勧めています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		児童に合った発達支援計画書の作成に努めています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		標準化されたアセスメントツールが良く分からないとの声もあるので、職員間での情報共有に努める
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		適正に支援内容が設定されている	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		支援計画書がすぐに確認できるように、ファイルをしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		1か月分ずつ活動プログラムを立てて、行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		同じ支援の内容でも、活動が変わるように工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		発達支援計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎朝9時10分から朝礼を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			終了時に居ない職員もいるので、スタッフ連絡帳を活用して、職員の情報共有に努めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		記録を職員みんなで分担して行うようにして、みんなでの情報共有を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	2		モニタリングを行っていますが、みんなでそろってが行いにくいので、事前に聞いたりと情報共有に努めています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		参加しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		保育所等訪問を利用している利用者さんもいる	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	4		キッズには居ないので行っていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	4		キッズには居ないので行って居ません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		モニタリングでの話し合いや、送迎の時の申し送りを行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4		小学部との情報共有は図っていないが、繋がる児童デイとの情報共有等は行ったことがあります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	きらめき北谷さんと情報共有をして、支援の助言を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6		今のところ行って居ません。コロナ感染も収まって来てからの企画となると思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		今のところ行って居ません。コロナ感染も収まって来てからの企画となると思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		申し送りや連絡帳・LINE等を活用して共通理解を行って居ます。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8		ペアトレーニング等が行われていると、保護者様にもPRをしたりして、お誘いしています。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		難しい言葉や分かりにくい内容に対しては、分かりやすく説明できるよう心がけている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		児童発達支援ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスを提供している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			定期的ではないですが、保護者からの相談には随時対応しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6		コロナ感染を懸念して保護者会は1度しか行えませんでした。感染対策を行い、今後増やす事が出来る様に工夫したいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		迅速に対応できるように、LINEや連絡帳の活用を行って居ます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	毎月活動プログラムと、児童の活動の様子を写真付きで発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		事業所内でも注意をしています。交流などの際は他児が写っている事もあるのでSNSなどへの注意喚起も行って居ます。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		絵カードをりょうしたり、個人マークを使用して、場所把握が出来る様に工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2		引越しをしてまだ地域の事がよくわかってないところもあるので、様子を見て地域に開かれた運営を図りたいです。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		マニュアルを作って貼っている。	研修を忘れないようにもっと定期的に行う事を計画しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		2か月に1度避難訓練を行って居て、子供達と対応できるようにしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			状況の確認、把握は出来ていますが、すぐに確認できるように表の作成など工夫を行っていきたいです。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			状況の確認、把握は出来ていますが、すぐに確認できるように表の作成など工夫を行っていきたいです。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		共有を行って居て、ファイルに綴っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			研修の時間確保が難しいので、各自で見る様に進めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		説明を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。